

★藤原誠太 1957年4月20日 岩手県盛岡市で生まれる。

- ・東京農業大学農業拓殖学科卒業。在学中に北南米で約1年間養蜂研究及び、研修。卒業研究で杉野賞（初代学科長賞）を受賞。
- ・1984年藤原養蜂場に入社、養蜂場長就任（現存する日本で最も古い養蜂場の三代目）。2023年7月退職。
- ・独自に日本ミツバチの飼育法及び巣箱を開発（藤原式）、養蜂関係特許多数保有。2010年「いわて特産品コンクール」工芸部門で、現代式縦型巣箱が県知事賞受賞。
- ・日本在来種みつばちの会会長（1989年設立 全国に会員数約1,000名）
- ・ニホンミツバチの空中交尾場所を世界で初めて発見、国際論文として *Apidologie* 誌に掲載された（1994）。
- ・1993年 全国青年会議所主催の表彰で、TOYP大賞及び農林水産大臣賞受賞。
- ・2000年～ 東京の社民党の屋上を利用した養蜂を始め、注目される。その後、屋上を利用した都市養蜂が全国に広がる。銀座、仙台他、日本各地でミツバチプロジェクトを指導。
- ・2004年 東京農業大学経営者大賞受賞
- ・2005年～ 東京農業大学客員教授（バイオビジネス）
- ・2010年 大日本農会より緑白綬有功章を受章
- ・2012年10月～2015年3月 JST（科学技術振興機構）の助成金を取得。岩手大学応用昆虫学研究室と共同研究を行いダニ捕獲用巣礎を開発、特許取得。
- ・各地で養蜂講座の講師、ミツバチについての講演を多数行っている。
- ・マスコミ（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、図書等）の取材も多数。
- ・著書に「日本ミツバチ 在来種養蜂の実際」（共著）
 - 「だれでも飼える日本ミツバチ」（ともに農文協より出版）
 - 「ミツバチは警告する 地球の生態系が危ない（上）」（電子出版）
 - 「ミツバチと暮らす」（地球丸より出版）
- ・商品開発多数 スズメバチウオーター スズメバチの蜂蜜漬け プロポリス原粉末 プロポリスのど飴 はちみつのど飴 長寿蜜 ヨーグルト蜂蜜、ハニープロポリス 9:1 一番蜜シリーズ ユリノキ蜂蜜 メイプルハニー シマトウガラシハニー ニホンミツバチたれ蜜・にぎり蜜 人工キンリョウヘン（研究者と共同開発） ニホンミツバチ用フローハイブ
- ・海外との関係
 - 2005 アメリカ（ウィスコンシン州）の全国蜂蜜協同組合より蜂産物促進会議に招待される。
 - 2010 学習院大学川嶋辰彦教授の招待で、タイ北部の村で東洋ミツバチの指導を2回行った。
 - 2010 韓国の「朝鮮ミツバチ園」の招待により、東洋ミツバチ研究会と交流。
 - 2010 世界スローフード協会（イタリア）より「テッラ・マードレ」に招待され、西洋ミツバチと日本在来種ミツバチ両用のダニを防ぐ巣箱の発表と、ネオニコチノイド農薬についての意見発表を行った。
 - 2011 「タイガの森フォーラム」の招待により、ロシアの山村の養蜂調査。
 - 2015 韓国で開催された「国際養蜂会議」に参加、東洋ミツバチ飼育者と交流。
 - 2015 「アジア生産性機構」の招待により、台湾各地で講演（計2,500名参加）。
 - 2018～オーストラリアの養蜂家が開発した「フローハイブ」の日本初の代理店となる（日本ミツバチに適合したフローハイブ巣箱を開発し採用され、販売）。
 - 2019 「韓国在来種みつばち協同組合」と相互協力の調印を行った。